



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき克俊

事務所 品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674

2009年5月3日・5月10日 合併号 No.662

日本共産党品川区議団ホームページ <http://www.jcp-shinagawa.com/>



現代版
姥捨て山

「たまゆら」くり返すな

品川も、特養ホーム入れず18人が…



3月19日の火事で屋根の一部を残して焼け落ちた「静養ホームたまゆら」と、現場を視察する日本共産党の議員ら。 3月21日 群馬県渋川市

群馬県渋川市の有料老人ホーム「静養ホームたまゆら」で10人の入所者が死亡した火事。低所得で介護を必要とする高齢者の深刻な実態が浮き彫りになりました。品川区も「たまゆら」と同様の施設に高齢者を入居させており、他人事ではありません。

「ついの住み家」と宣伝していた「たまゆら」は、県に有料老人ホームの届け出をしていませんでした。施設の基準を満たすためのコストや、行政の監視を逃れるためとみられています。火元の別館は通路の引き戸を夜間は「つつかえ棒」で閉じていたこと、建築確認申請せずに増改築をしていたことが判明しています。夜間のスタッフが少なく、スプリンクラーや防火設備もないという、福祉施設の運営責任者として必要最低限の防火対策を怠ってきた人命軽視とも言える姿勢が厳しく問われます。

一方、行政はどうだったでしょう。15人を「たまゆら」に入居させていた墨田区は、生活保護受給者を住民票は区に置いたま

ま生活保護費を区が支給して入居させていました。区内の特養ホーム、老人保健施設が満杯のため、「近くの施設がいいに決まっているが、待ったなしの人を放っておくわけにいかない」と区の担当者はマスコミの取材に答えています。

しかし、「たまゆら」には、以前から福祉関係者や住民が入所者への対応や施設の安全管理の問題点を指摘、県や市、墨田区にも電話や手紙で伝えてきたといひます。NPOで介護施設の改善へ活動をしている方は「しんぶん赤旗」の取材に、「たまゆら」から逃げ出す人がいるとの住民の訴えを基に調査して、満足に食事が提供されていないこと、施設周辺に廃材などが放置され火災があったら危険なことなどを県に知らせて指導を申し入れてきたが、結局、調査に入らなかつたと話しています。

現代版「うば捨て山」のような

「たまゆら」。今回の事故は、必要な介護サービスを保障する国や自治体の責任が後退している実態を浮き彫りにしました。

品川区も、墨田区と同じく生活保護受給の高齢者を「たまゆら」と同じような施設に入所させています。都内2施設4人、都外11施設14人で計18人です（今年3月23日現在）。行政の責任も厳しく問われます。

**品川区
高所得者を優遇
ケアホームは13ヶ所に
利用料も減額する…**

来年、10年ぶりの特養老人ホーム（定員80名）が八潮団地にオープンします。8年間、9回にわたる署名運動と共産党の議会論戦の成果です。

品川区は低所得者の入れる特養ホームでなく、高額所得者向け施設を増設して利用料も減額します。しかも、減額するため

しかし、特養ホーム待機者は依然500名もいるのに、品川区の長期計画には、八潮以後の特養ホームの具体的な増設計画はありません。一方、利用料が高いケアホームは区内に13ヶ所誘致する計画です。

品川区は低所得者の入れる特養ホームでなく、高額所得者向け施設を増設して利用料も減額します。しかも、減額するため

無料
弁護士
が対応

法律相談

5月22日(金) Pm 6:30

みやざき克俊事務所



都営住宅5月募集のお知らせ

(1) 募集内訳 計2,025戸
 ①世帯向・単身者向(一般住宅)
 ②定期使用住宅(若年ファミリー向)
 ③同(多子世帯向)
 ④若年ファミリー向

(2) 申込書配布期間
5月7日～5月15日

(3) 申込書配布場所 区役所住宅課、各地域センターなど

(4) 休日相談
5月9日(土) 荏原文化センター
5月10日(日) きゅりあん3階

ご希望の方は忘れずにお申し込みください。

※品川生活と健康を守る会主催の入居相談会の問い合わせは TEL3773-2391へ。

